

西中だより

山崎西中学校
通信部
校訓

光る顔(徳育)
光る目(知育)
光る汗(体育)

二学期の終わりにあたって

教頭

令和二年がもうすぐ終わろうとしています。今年
は未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大の混乱に
始まり、未だなお終息の兆しが見えない中、本校も
感染防止対策を徹底して行い、試行錯誤しながらの
教育活動を進めて参りました。保護者の皆様、地域
の皆様には、大変ご無理を申し上げながらもたくさ
んのご支援をいただきましたこと、またPTA活動
にもご参加・ご協力いただきましたこと、心から感
謝申し上げます。

例年二学期には、体育祭や文化祭などの行事を
実施し、生徒たちは日頃の活動の成果を皆様の前で存
分に披露することができていました。しかし、今年
度はコロナ禍において、生徒や関わっていただく方
々の安全を第一に考え、感染症防止対策として体育
祭は縮小、文化祭は無観客という形での開催となっ
てしまいました。生徒たちは、例年通りに行えない
落胆と葛藤の中、現状を理解し、生徒会執行部を中
心にできることを考え、知恵を絞り意見を出し合い
ながら、前向きに取り組む姿を見せてくれました。
各学年・各学級においても、方向性を確認しそれぞ
れの目標に向けて力を合わせ、練習にも全力で取り
組む生徒たちの表情はいきいきと輝き、逆境に負け
ないひとりひとりの成長を実感することができまし
た。また、三年生は日帰りとなりましたが、淡路方
面への修学旅行をなんとか実施することができ、中
学校生活の良き思い出の一つとして心に刻んでくれ
たのではないかと思います。

これからの新しい時代を生きる子どもたちの指導
に向けて、新学習指導要領では、「対話」がキーワ
ードとされています。対話は、「勝ち負けの生じな
い合意やアイデアを生み出すための会話」「心を

一つにして行動することのできる状態を作り出す
ための会話」とありました。相手を理解し、
共感して繋がるために、自分の考えを述べるよ
りも、相手の見ているものや感じていることを
受け取ることから始めなければなりません。「話
すこと」よりも「聴くということ」が重視され、
ただ「聴く」だけではなく、能動的に相手の話
を「聴きにいく」「聴くことで感じ取る」ことが
必要となってきます。人にはそれぞれに見方や
感じ方があり、どれが正解かは分かりません。
お互いに譲ることなく自分の「正しい」を主張す
れば、永遠にお互いを理解することはできません。
ん。だからと言ってどちらかが折れてしまえば、
それは納得のいかないまま相手に従うことにな
ってしまいます。気取らない本音の対話は、み
んなに話す機会があり、ひとりの声をきいてもら
っているという実感があり、ひとりひとりが互
いの言葉に真剣に耳をかたむけるはずで、今
年度のように、これまで通りにいかない日常を
どのように過ごすのか、思い通りにいかない生
活の中でどう考え行動すべきなのか。現状を理
解し、よりよい学校生活を送るために、未来に
向けて、生徒たち同士の「対話」、生徒と教師の
「対話」、親子の「対話」を充実させ、共に新しい
時代を生きる力を育んでいけたらと思います。

冬休みが終われば残り三ヶ月、今年度の締め
くくりの学期を残すのみとなります。三学期か
らは、生徒会執行部として二年生が学校を引
つ張っていくこととなります。三年生も進路に
向けて、入試を迎え本格的に動き出します。生
徒たちがこれまでの経験の成果を遺憾なく発揮
し、山崎西中学校の生徒がより一層活躍してく
れると信じています。最後になりましたが、保
護者の皆様には今後も変わらぬご理解、ご支援
をお願いいたします。それでは良いお年をお迎え下
さい。

輝心結束 受け継ぐ伝統 進め未来へ 生徒会担当

令和二年度、山崎西中学校生徒会は「輝心結束
受け継ぐ伝統 進め未来へ」をスローガンに
活動しています。「輝心結束」には、山崎西中学
校の生徒全員の輝く心を結束させることで、さら
に高みを目指すという意味が込められており、「受
け継ぐ伝統 進め未来へ」には、これまで積み上
げられた伝統を受け継ぎ、未来に向かって突き進
んでいくという意味が込められています。

昨年の冬、生徒会執行部の生徒たちは「これま
での執行部の皆さんが良くしてきたこの学校をさ
らに良くしていきたい」と強い想いを胸に、生徒
会活動を始めました。初めは、分からないことば
かりで失敗することも多くありましたが、そのた
びに仲間と協力し、励まし合いながら課題を乗り
越えてきました。

特に本年度は、春に新型コロナウイルス感染症
拡大防止のために全国で臨時休校があり、再開後
も様々な行事が縮小、または中止になりました。
例えば、生徒総会の決議は代表者のみで行われ、
体育祭では時間を縮小し、文化祭では無観客での
開催となりました。例年とは違う行事の準備・運
営となりましたが、体育祭では「西中に吹かせろ
情熱の風、一瞬の輝きを 永遠の思い出に!」、
文化祭では「解き放て 努力の結晶、輝く心でエ
ールを送ろう!」のスローガンを掲げ、西中生
が力を合わせて立派にやり遂げました。

例年とは違う行事の準備や日々の専門委員会の
活動は時間のかかる地道な活動であり、執行部の
生徒にとつて、その苦労は大変なものであつたと
思います。これまでの生徒会活動を手本にしなが
らも、現状を理解し、その中でよりよい山崎西中
学校にしていくために、様々な意見を出し合い、
企画・提案することができていました。その姿に頼
もしきも感じました。

また、彼らを支え協力してきたのは西中生ひと
りひとりです。執行部の「この学校をより良くし

たい」という思いと、生徒ひとりひとりの「仲間
と過ごす時間を大切にしたい」という思いがさら
に強くなったと思います。

自分の進路実現に向けてさらに努力している三
年生にとっては、この一年間の経験が自信につな
がってくれることを願います。また、先輩を支え
ながら活動を見てきた一、二年生には、三年生の
姿に憧れを抱き、良い手本として、自らもそれ
に続き、さらに山崎西中学校の生徒会活動を向上
せよという意欲を持ってもらえることを期待しま
す。そして我々教師は、生徒が主体となった西中
の生徒会活動が、良き伝統として長く引き継がれ
ていくよう活動を見守り、支え続けていきたいと
思います。

今後とも山崎西中学校の生徒会活動にご協力下
さいますようお願いいたします。本年度は、コロ
ナ禍の中、例年とは異なるさまざまな学校活動に
ご理解・ご協力いただき、保護者の皆様、地域
の皆様にご心より感謝申し上げます。



1月8日(金)

3学期始業式

12日(火)

SC来校

12日(水)

課題テスト(1・2年生)

13日(水)

給食開始・ノー部活

12日(水)

中間考査(3年生)

14日(木)

校内書初め大会

15日(金)

貯金日・防災避難訓練

19日(火)

校内授業研究会SC来校

ノー部活

20日(水)

1年生ものづくり体験学習

21日(木)

耳鼻科検診

26日(火)

SC来校

27日(水)

ソーシャルスキルトレーニング

校内研修会・ノー部活

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止
対策等により変更になる場合もあ
ります。

二学期を振り返って

一年一組 委員長
副委員長

今学期を振り返ってみると、二つのことが思い浮かびました。一つ目は文化祭や体育祭などの大きな行事です。文化祭や体育祭ではクラスが一つとなり、みんながひとりひとりを認め合うことができました。クラスの心がひとつとなったからこの大きな行事を乗り越えることができたと思います。二つ目は声かけです。二学期が始まった頃は、声かけをする人が同じで、指示もあまり通りませんでした。けれど、今はみんながクラス全体に声かけをし、指示も通るようになってきました。これは、クラスがとても成長したからできたことだと思います。



最近、先生から「出来ていたことが出来なくなっている。」と言われるようになりました。三学期に頑張りたいことは、出来ていたことが出来なくなることです。三学期もクラスみんなで成長していきます。

一年二組 委員長
副委員長

二学期はたくさんの行事がありました。一つ目は体育祭です。二組は、この初めての体育祭で協力できる喜び、負けても楽しいという感情やクラスメイトと絆が深まっていくうれしさなどたくさんを学びました。

二つ目は文化祭です。練習の時には上手くいかないことがあり、少しクラスの雰囲気が悪くなりました。でも、みんなの心の中にある「頑張りたい気持ち」がどんどん大きくなり、練習を重ねることによって合唱ができていったように思います。本番ではクラスみんなの心を一つに歌うことができました。

三つ目はドリムマップ授業です。ドリムマップ授業では将来の自分の姿を思い描き、みんなの前で発表しました。友達のこれまで知らなかったことをたくさん発見した気がしてうれしかったです。今学期はクラスの絆がとて深まったと思います。だから、三学期は、もつとこの絆を深め、みんなで助け合いながら頑張っていきたいです。一年生もあと少しです。ぐんぐんと成長しましょう。

二年一組 委員長
副委員長

二年一組は、二学期の間でたくさん進化したと思います。二学期には体育祭、文化祭、と大きな行事がありました。そのたびに学級目標の「響力」をクラスのひとりひとりが意識し、お互いの努力や頑張りを「知る」ということを心掛けて行事に取り組みました。練習をしていく中で、意見が分かれたときも、クラス全員の心の中に「響力」の気持ちがあったからこそいろいろなことを乗り越えられたと思います。だから、三学期も「響力」の気持ちを忘れずに生活していきたいです。生活面では休み時間が有効的に使えていなく、心の面での落ち着きが見られなくなってきました。三学期は休み時間を有効に活用して、掃除は私語なし清掃を徹底し学校と同時に自分の心も磨くことをしていきたいと思っています。そして学校のリーダーになる準備をしていきたいです。三学期も頑張ろう！



二年二組 委員長
副委員長

二年二組は、一学期に比べ、落ち着きのあるメリハリのついた生活ができました。しかし、休み時間の声が大きくなったり、呼びかけをしても席に座るのが遅い人もいたりしました。

三学期は、二年生を締めくくり、三年生になるための準備の学期です。後輩の手下になるために、みんなで協力し合って頑張りたいと思います。そのためには、呼びかけをする人を増やすことと、自主的に動く人を増やすことです。呼びかけを増やせば、早く席に座る人が増えるし、自主的に動けば、前向きな気持ちで生活できると思います。先生や友達に言われてから動くのではなく、自分から呼びかけをして行動できるクラスになっていきたいです。

二組は、元気いっぱいいるクラスです。この良いところを輝かせるためにも、三学期をより、メリハリのついた、自主的なものにして、二年生らしく締めくくりたいと思います。



二年三組 委員長
副委員長

二年三組は、いつでもエネルギーにあふれているパワ

フルなクラスです。でも、授業と休み時間の切り替えがなかなかできず、授業中に必要のないことをしゃべったり、一分前着席ができなかったりすることが多くありました。

そんな私たちの課題は、『気づいている人は声をかけて、気づいていない人は、まず自分から動くこととする』です。気づいている人は、気づいていない人に声をかければ、気づいていない人は、自分からもつと時計や周りを見て行動することにより良くなっていくと思います。すぐに実行をすることはできませんでしたが、みんなで意識をして行動を変えていくところから始めました。二学期が終わる今では、呼びかけや、自分で時計や周りを見て行動する人が増えました。この課題は三学期以降も、取り組んでいきたいです。二学期を振り返ると体育祭や文化祭などの行事が多くあり、あつという間に過ぎた気がします。行事を通して、みんなが何かをやり遂げることができた二学期は充実した学期でした。三学期も三組みんなで頑張っていきたいです。



三年一組 委員長
副委員長

二学期を終えて、私たち三年一組は、互いに助け合いながら過ごすことができました。はじめは、まとまりがなかったですが、日が経つにつれてみんなの心が一つになりました。そして、みんながまとまり、絆を深めることができました。体育祭や文化祭でもコロナウイルス感染症の予防をする中での開催でしたが、感謝の思いを持って、みんなを力合わせてることができました。特に体育祭ではクラスの絆を優勝という最高の形で残すことができました。これからもこの絆を大切に全員で力を合わせて、全力で頑張ります。また、先日は次の生徒会執行部が決まりました。新しい生徒会執行部を中心にさらに成長していく山崎西中学校を三年生として、後ろから支えられるようにしていきます。

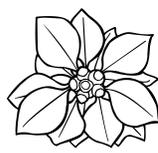
三学期は受験生として、進路の実現に向けて個人それぞれが学習に力を入れ成長する中で、クラス全員で学習と生活の両方でよい雰囲気をつくり、最後を締めくくれるようにしていきます。



三年二組 委員長
副委員長

今年は、例年とは違い、マスクをつけての授業や、縮小されて行われた体育祭、マウスシールドをつけての文化祭など、たくさんさんの制限がある中で学校生活でした。しかし、そんな中でもくじけず、学級目標の「虹」のもと、「みんなで目標達成し、虹を架けられるように」と一丸になって頑張ることができました。体育祭では悔しい思いをしましたが、「文化祭では最優秀賞を獲得！」と気持ちを高めて練習に励みました。その結果最優秀賞を獲得することができ、二組の団結力を示すことができたと思います。

また、三年生として、勉強も頑張りました。「クラスのため」「自分のため」と信じ、早いペースの授業や多くのテストもみんなで乗り越えました。そして、「誰もが発表できるクラス」「みんなで教え合えるクラス」を目標に、みんなで高め合ってきました。三学期は、進路実現に向けて勉強が中心になりますが、二組の良さである団結力を大切にみんなで気持ちをそろえて頑張っていきたいと思います。そして、三年生として一、二年生に良い姿が見せられるように卒業まで成長していきます。



三年三組 委員長
副委員長

今、二学期を振り返ってみて、コロナウイルスの影響で、規模が縮小されながらも体育祭や文化祭という大きな行事を仲間とともにやり切れたこと、それによって、よりクラスの絆が深まったこと、修学旅行へも無事行けたことなど、色々なことがあり、毎日がとても速く流れていったように思います。冬休みは、三年生全員で進路実現に向けて規則正しい生活をして、体調を整え、計画的に学習が進められるようにしたいです。

冬休みを挟んでの三学期は、本格的に受験を意識し、目標を達成できるように、授業態度の向上や、提出物の徹底など、日常生活を正し、三年間の締めくくりができるような学期にします。

